



最近の山梨県の経済情勢

令和 7 年 11 月 6 日

財務省関東財務局

甲府財務事務所

1. 総論

【総括判断】「県内経済は、持ち直している」

項 目	前回（7年7月判断）	今回（7年10月判断）	前回比較
総括判断	持ち直している	持ち直している	

（注）7年10月判断は、前回7年7月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、物価上昇の影響がみられるものの、持ち直している。生産活動は、緩やかに持ち直しつつある。雇用情勢は、持ち直している。

【各項目の判断】

項 目	前回（7年7月判断）	今回（7年10月判断）	前回比較
個人消費	物価上昇の影響がみられるものの、持ち直している	物価上昇の影響がみられるものの、持ち直している	
生産活動	緩やかに持ち直しつつある	緩やかに持ち直しつつある	
雇用情勢	持ち直している	持ち直している	
設備投資	7年度は増加見込みとなっている	7年度は増加見込みとなっている	
企業収益	7年度は増益見込みとなっている	7年度は減益見込みとなっている	
企業の景況感	「下降」超幅が縮小している	「下降」超幅が縮小している	
住宅建設	前年を下回っている	前年を下回っている	

【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、持ち直していくことが期待される。ただし、物価上昇の継続、米国の通商政策、金融資本市場の変動等の影響に注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「物価上昇の影響がみられるものの、持ち直している」

ホームセンター販売額、家電大型専門店販売額は前年を下回っているものの、百貨店・スーパー販売額、コンビニエンスストア販売額、ドラッグストア販売額は前年を上回っている。乗用車の新車登録届出台数は前年を下回っている。観光・宿泊は回復している。これらのことから、個人消費は、物価上昇の影響がみられるものの、持ち直している。

(主なヒアリング結果)

- 売上げは好調に推移しているが、販売価格の上昇による影響が大きい。(百貨店・スーパー)
- 売上げは前年同期を上回っており好調。値上げによる客単価上昇のほか、クーポン発行に伴い客数も増加している。このほか、今夏の猛暑を受け、清涼飲料や冷やし麺の需要が高まった。(コンビニエンスストア)
- ピークが前倒しになった影響で、季節家電の売上げは横ばい。昨年好調だった反動で、防災用品の売上げが前年同期比大幅減。(ホームセンター)
- 猛暑で例年より前倒しの6月末頃からエアコン等の夏物家電が好調。その影響で売上げが鈍化。(家電量販店)
- 単価が高く収益性の高い車種が売れていないため、売上げは前年を下回っている。(自動車販売)
- 外国人宿泊客はSNSで広まった大地震に関する根拠のない情報の影響で減少したものの、国内宿泊客は、お盆期間が好調で若干の増加となった結果、全体としては前年並であった。(宿泊)

■ 生産活動 「緩やかに持ち直しつつある」

汎用・業務用機械は減少しているものの、生産用機械、電気機械などは増加しており、生産活動は全体として緩やかに持ち直しつつある。

- 米国関税が落ち着き、不透明感が和らいだ。堅調だった前期から引き続き需要は底堅い。(生産用機械)
- 中国においてデータセンター向け設備部品の大口需要があり、生産量が増加。(生産用機械)
- 生成AIの普及に伴うデータセンター向けAIサーバーの需要拡大が市場を牽引。一方で、車載用、産業向けの需要は軟調。顧客の投資スタンスが慎重になっており、本年下半年に予想していた需要回復に遅れがでている。(生産用機械)
- 中国の不動産市場の停滞による景気低迷を受け北米市場の開拓に力を入れているところ、北米新規大手顧客の在庫調整が終息方向にあり、受注・生産ともに増加している。(電気機械)
- 全体として需要は堅調に推移しており受注・生産とも例年並みであるが、値上げた製品の需要に若干減少の兆しがある。(業務用機械)

■ 雇用情勢 「持ち直している」

人手不足を背景に企業の採用意欲が高い状況にある中、有効求人倍率、新規求人数はともに横ばいで推移しており、雇用情勢は持ち直している。

- 高卒で就業する人が少ないことに加え、県内大企業や東京の企業も県内の高校にリクルートに来ており、新卒の採用は非常に厳しい状況。(製造)
- ここ数年は新卒の確保が非常に難しい状況が続いている。特に電気技術者が不足しており、中途採用に力を入れている。(製造)
- 専門店の中では特に飲食店の従業員が不足している。アルバイト・パート職員の定着率が低く、人手不足が継続している状況となっている。(小売)
- 厨房など専門性の高い分野では人手が不足している。スタッフの需要が減ることはなく、他業種よりも高い時給を設定しないと人手が集まらない。(宿泊)

■ 設備投資 「7年度は増加見込みとなっている」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」7年7-9月期

- 7年度の設備投資計画をみると、製造業では前年比52.9%の増加見込み、非製造業では同1.6%の増加見込みとなっており、全産業では同25.2%の増加見込みとなっている。

■ 企業収益 「7年度は減益見込みとなっている」 (全規模) 「法人企業景気予測調査」7年7-9月期

- 7年度の経常利益(除く「電気・ガス・水道業」、「金融業、保険業」)をみると、製造業では前年比1.0%の増益見込み、非製造業では同▲9.4%の減益見込みとなっている。

■ 企業の景況感 「『下降』超幅が縮小している」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」7年7-9月期

- 景況判断BSIをみると、全規模・全産業ベースで「下降」超幅が縮小している。先行きについては、全規模・全産業ベースでみると、7年10-12月期に「上昇」超に転じる見通しとなっている。

■ 住宅建設 「前年を下回っている」

- 新設住宅着工戸数をみると、貸家は前年を上回っているものの、持家、分譲住宅は前年を下回っており、全体として前年を下回っている。

最近の山梨県の経済情勢

資料編

令和 7 年 11 月 6 日

財務省関東財務局

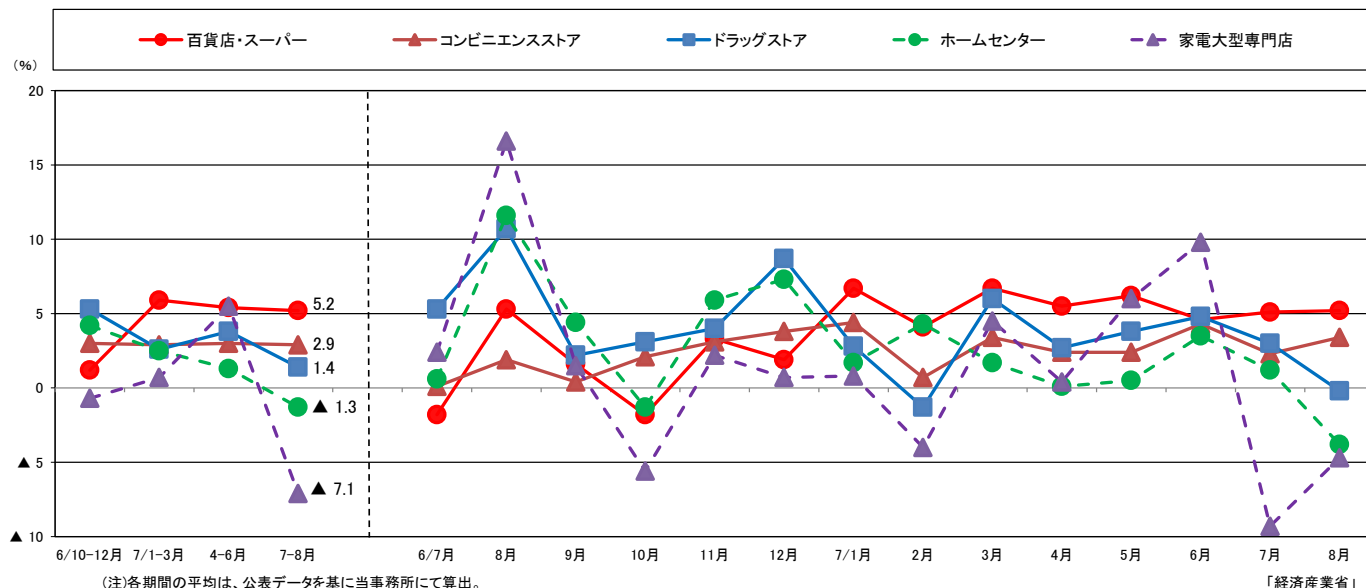
甲府財務事務所

1. 個人消費

物価上昇の影響がみられるものの、持ち直している

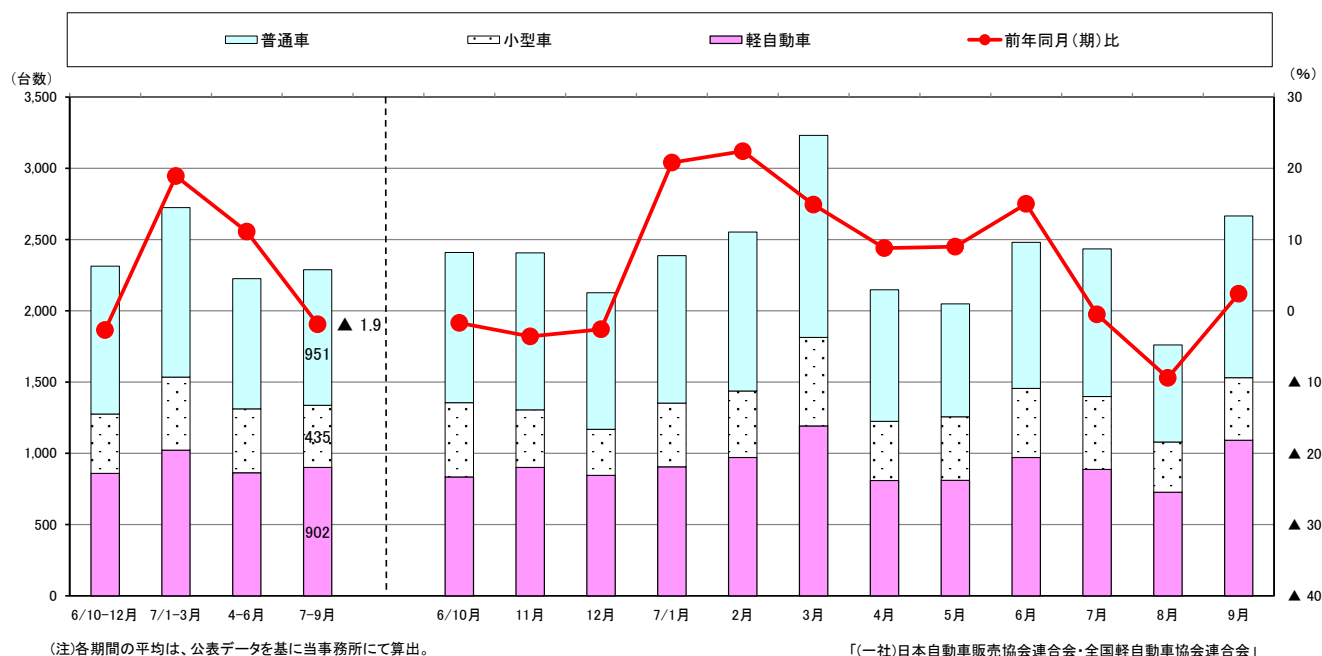
〔グラフ1〕

業態別販売額(県内・前年同月(期)比)



〔グラフ2〕

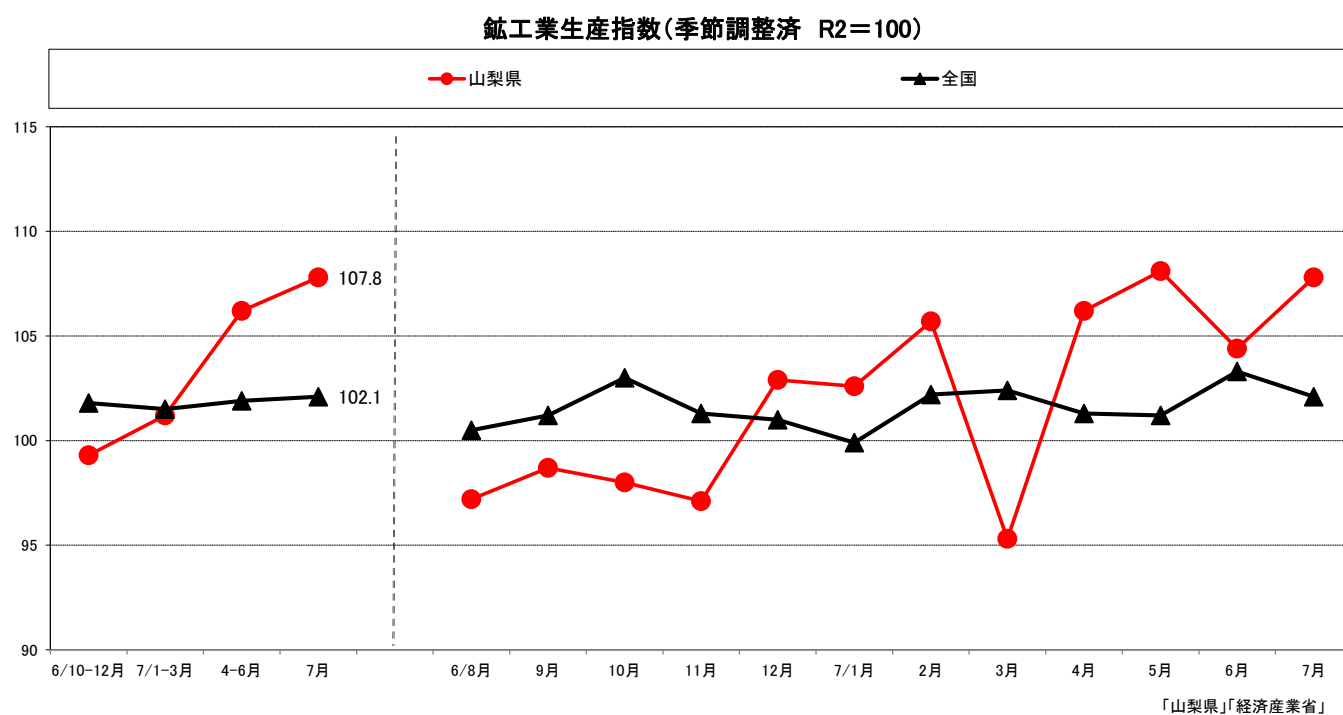
乗用車新車登録届出台数(県内)



2. 生産活動

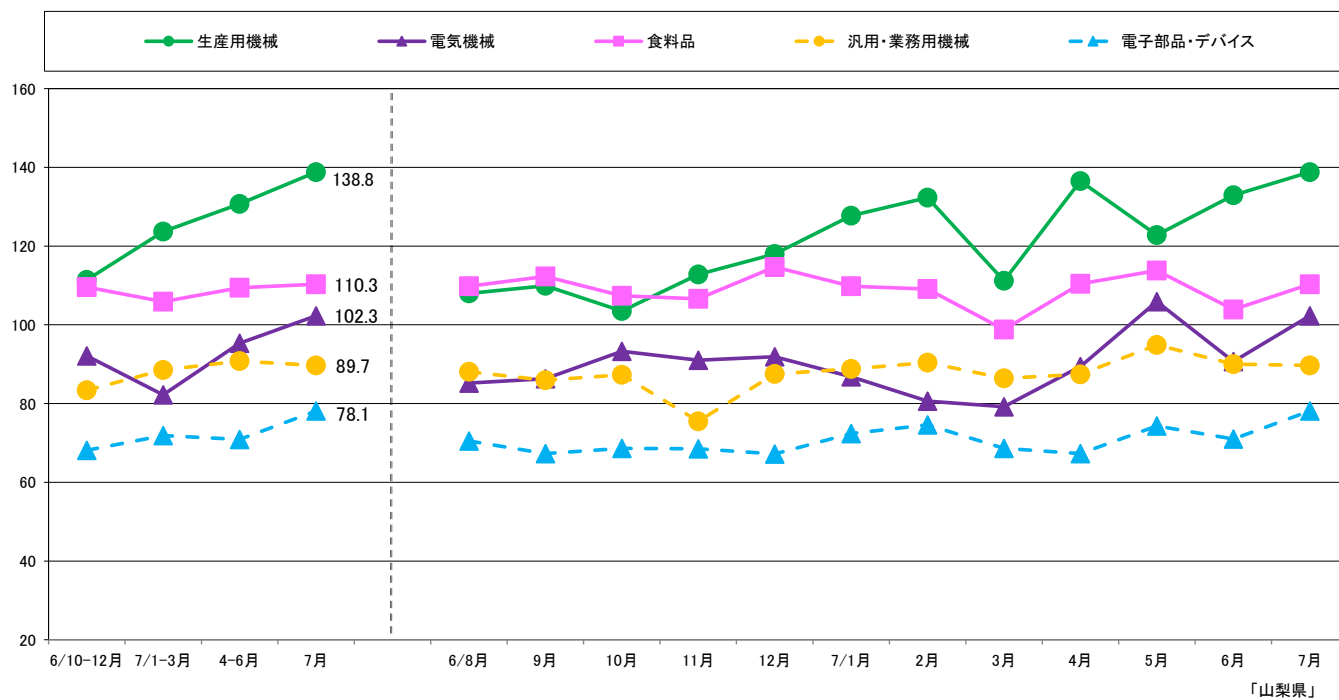
緩やかに持ち直しつつある

〔グラフ3〕



〔グラフ4〕

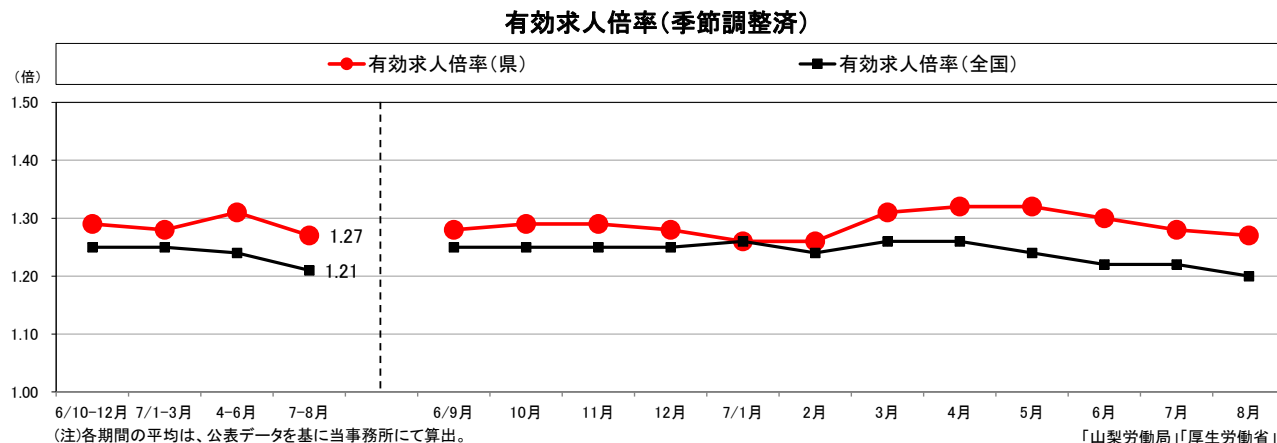
鉱工業生産指数(業種別)(県内・季節調整済 R2=100)



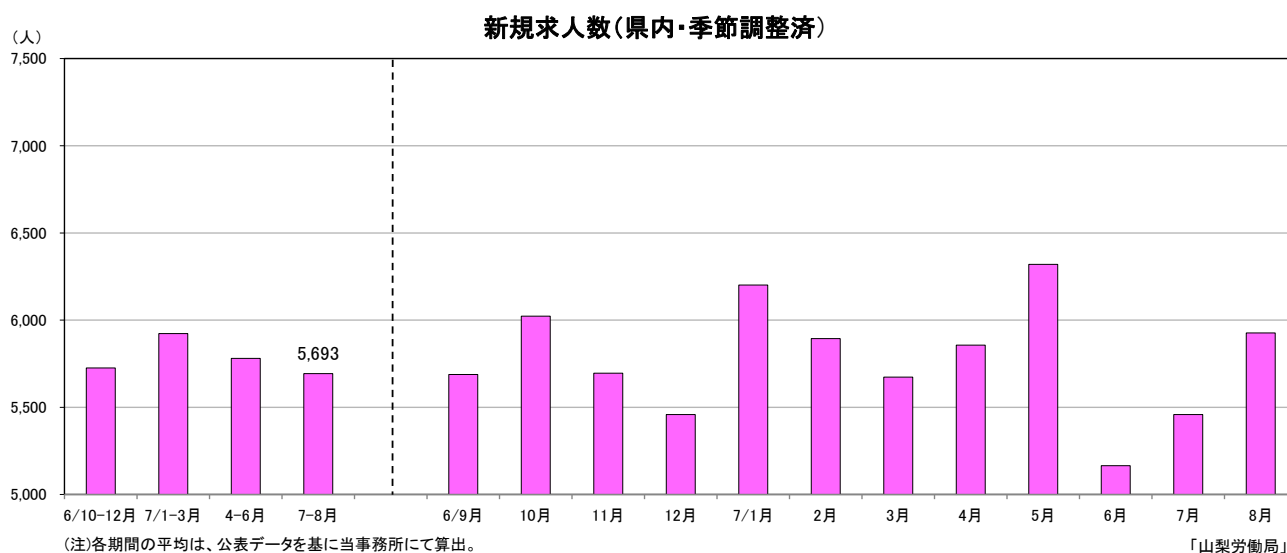
3. 雇用情勢

持ち直している

〔グラフ5〕

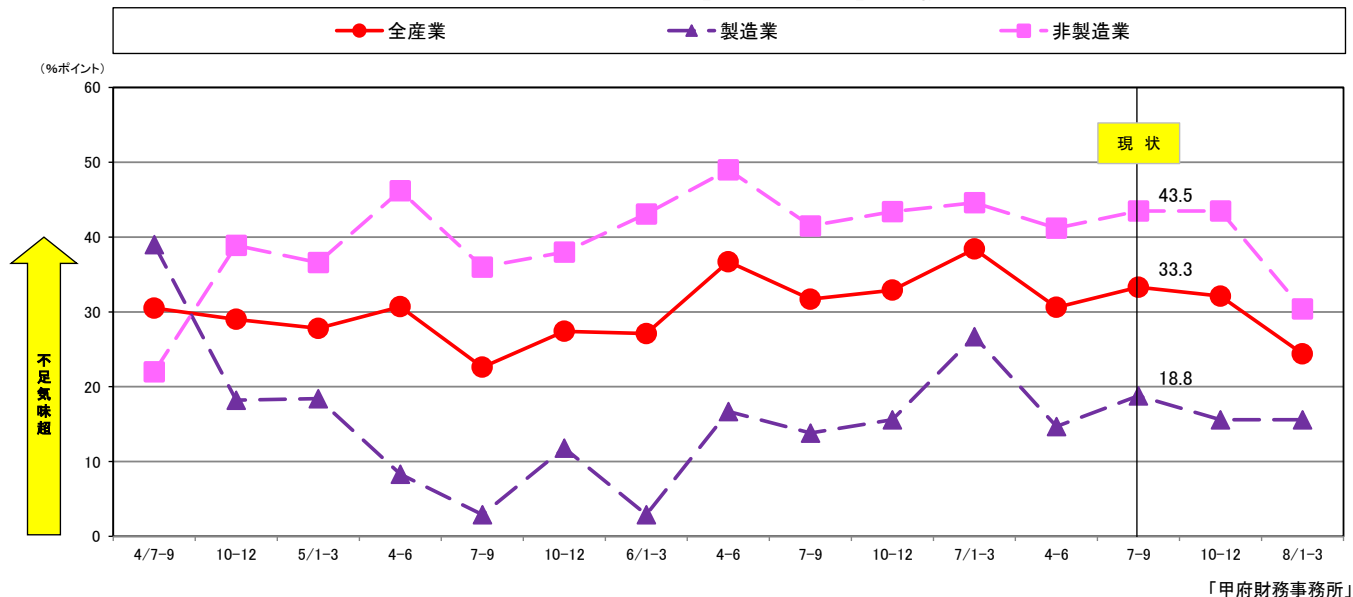


〔グラフ6〕



〔グラフ7〕

山梨県内所在企業の従業員数判断BSIの推移(業種別)
(期末判断「不足気味」-「過剰気味」社数構成比)

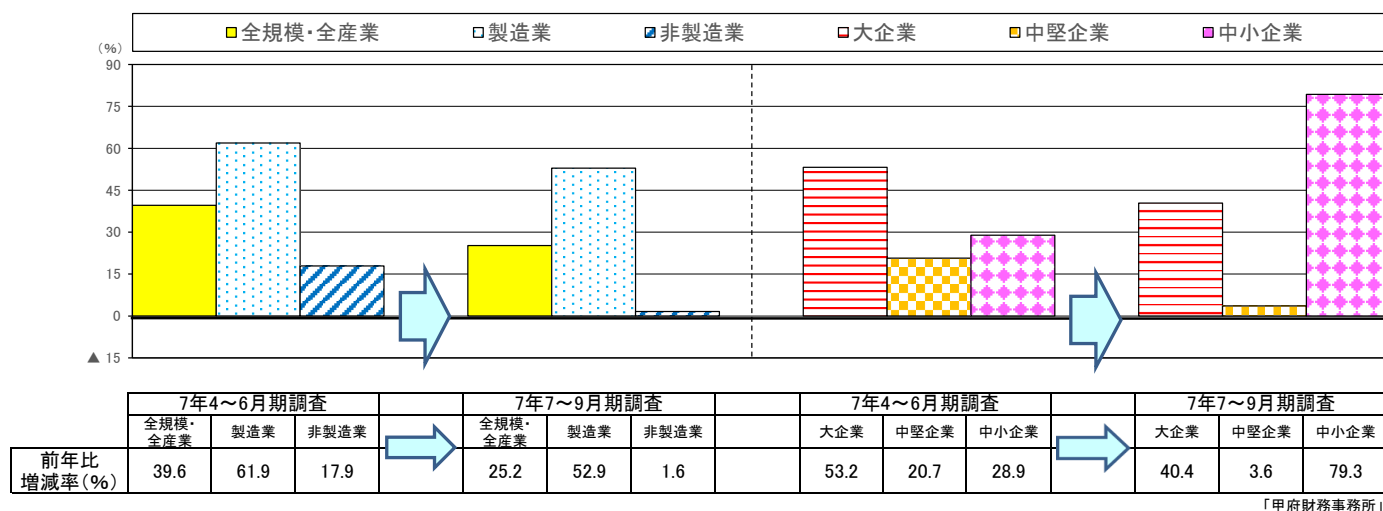


4. 設備投資

7年度は増加見込みとなっている

〔グラフ8〕

山梨県内所在企業の設備投資計画(除く土地購入額 含むソフトウェア投資額、前年比増減率：%)

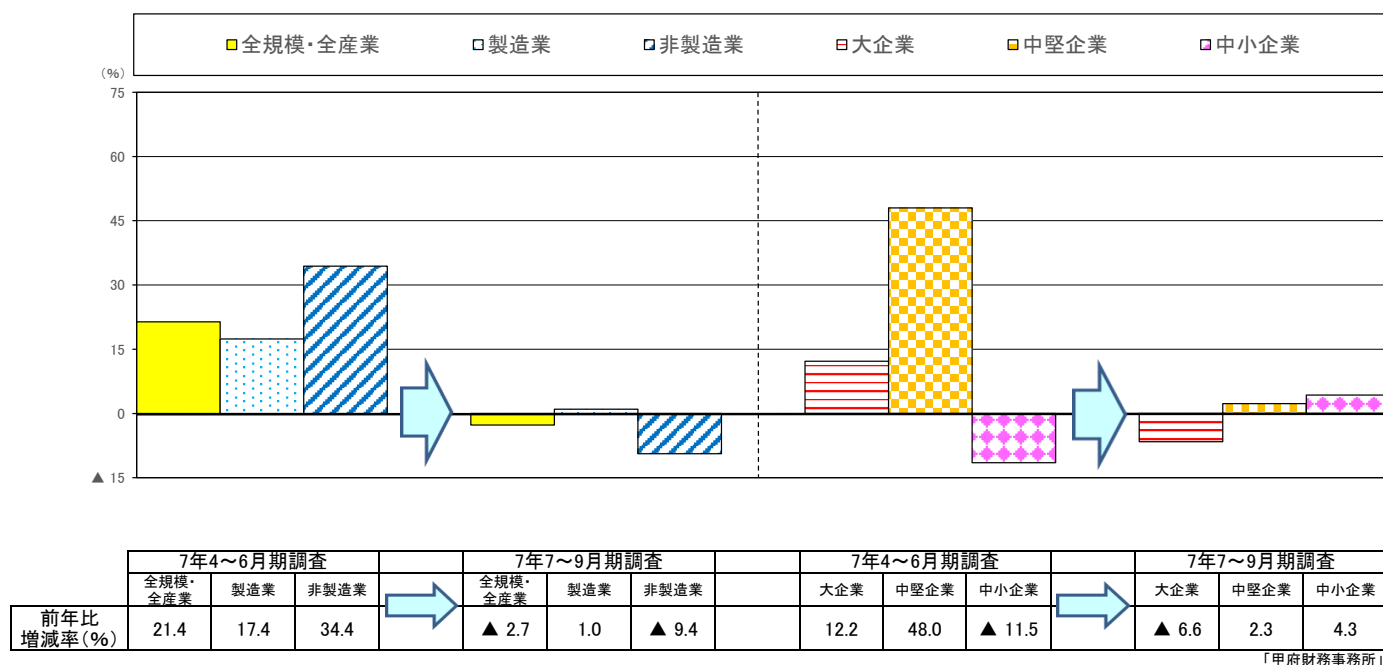


5. 企業収益

7年度は減益見込みとなっている

〔グラフ9〕

山梨県内所在企業の経常利益(除く「電気・ガス・水道業」、「金融業、保険業」、前年比増減率：%)

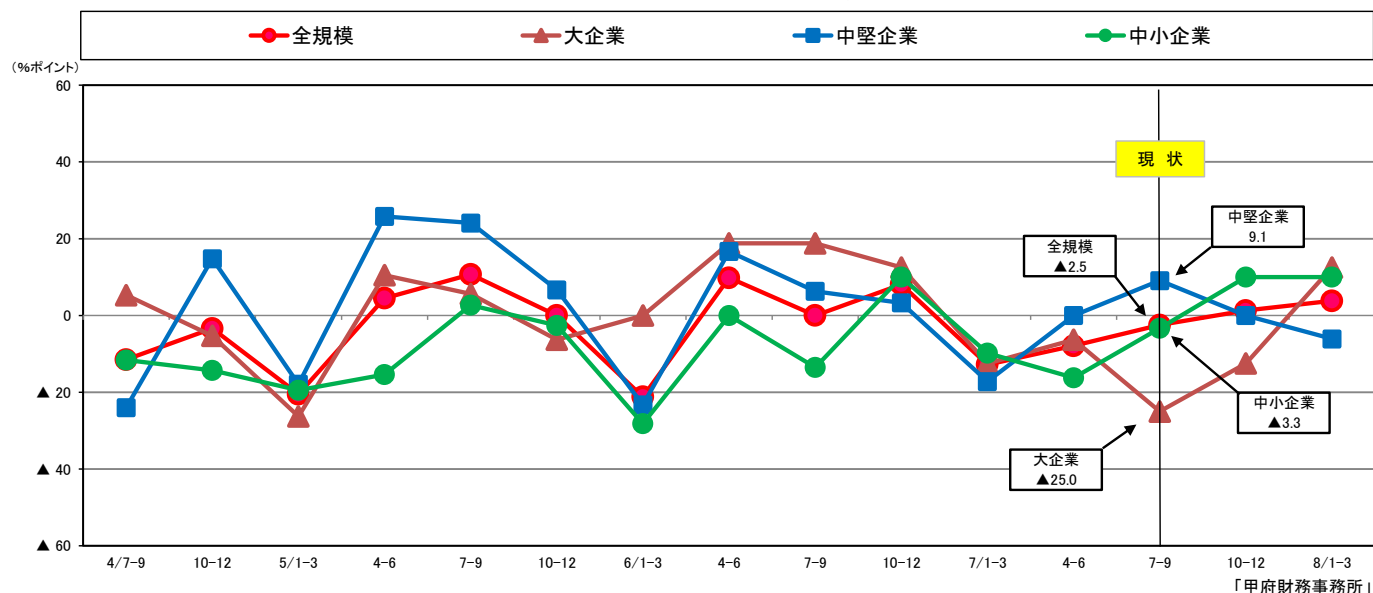


6. 企業の景況感

「下降」超幅が縮小している

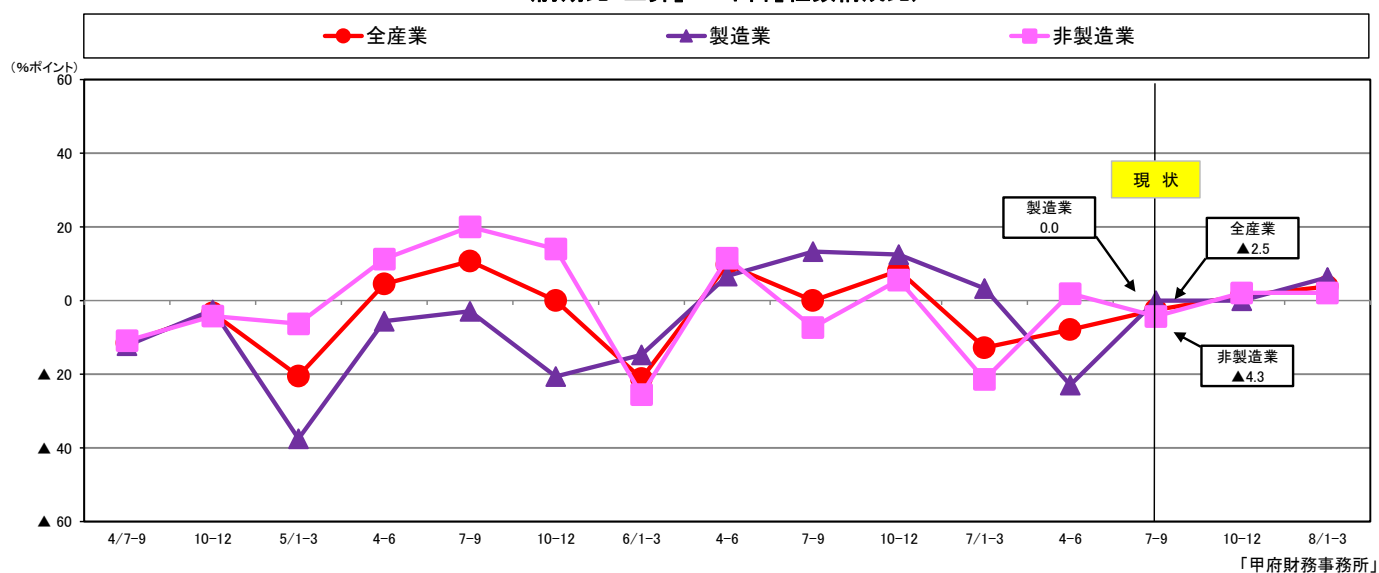
〔グラフ10〕

山梨県内所在企業の景況判断BSIの推移(規模別)
(前期比「上昇」-「下降」社数構成比)



〔グラフ11〕

山梨県内所在企業の景況判断BSIの推移(業種別)
(前期比「上昇」-「下降」社数構成比)

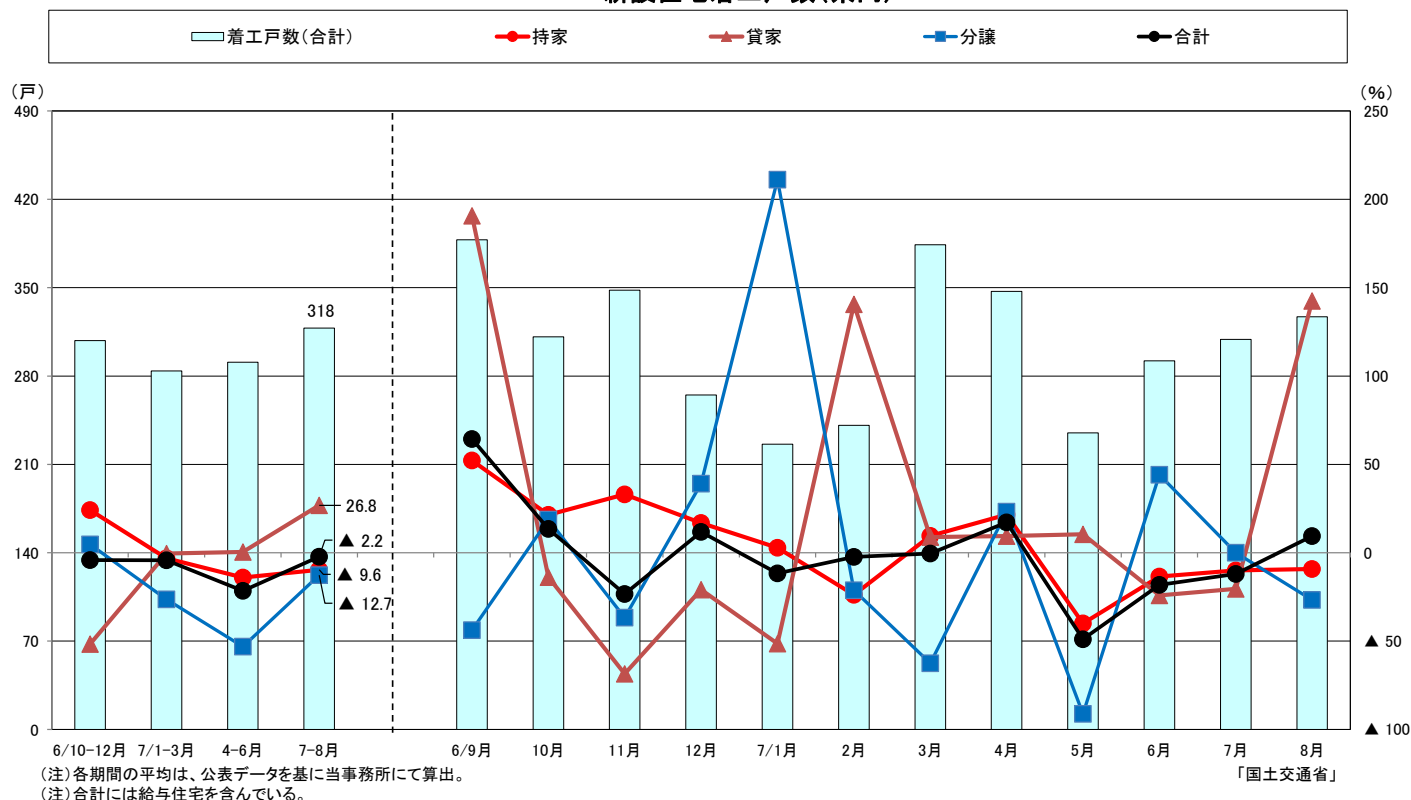


7. 住宅建設

前年を下回っている

〔グラフ12〕

新設住宅着工戸数(県内)

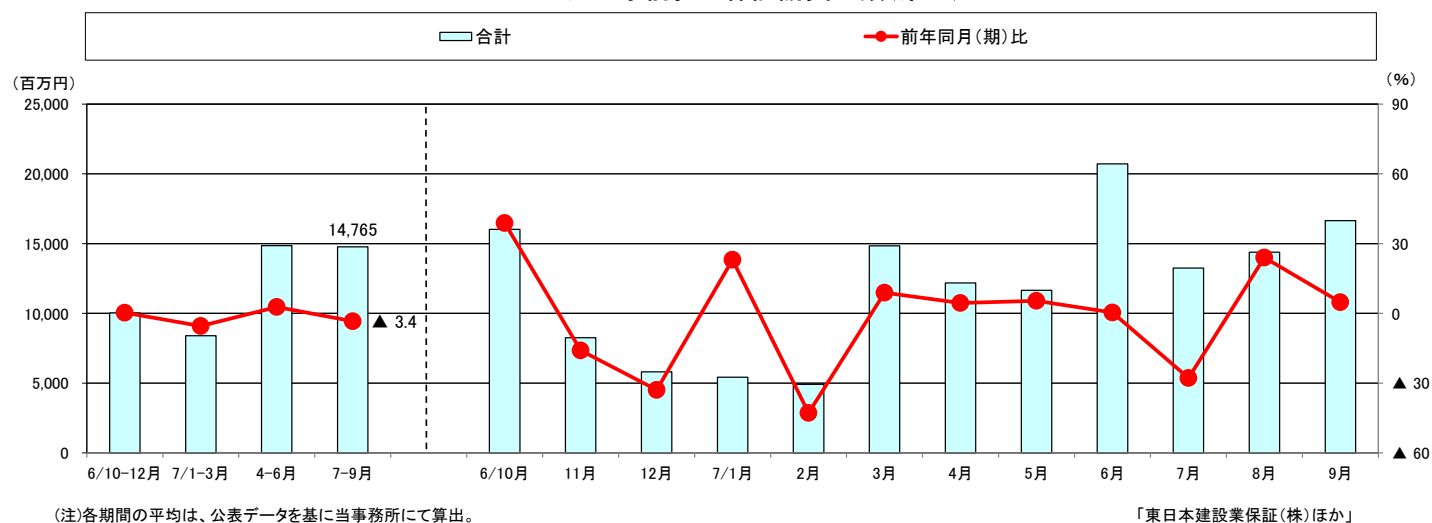


8. 公共事業

前年を下回っている

〔グラフ13〕

公共工事前払金保証請負金額(県内)

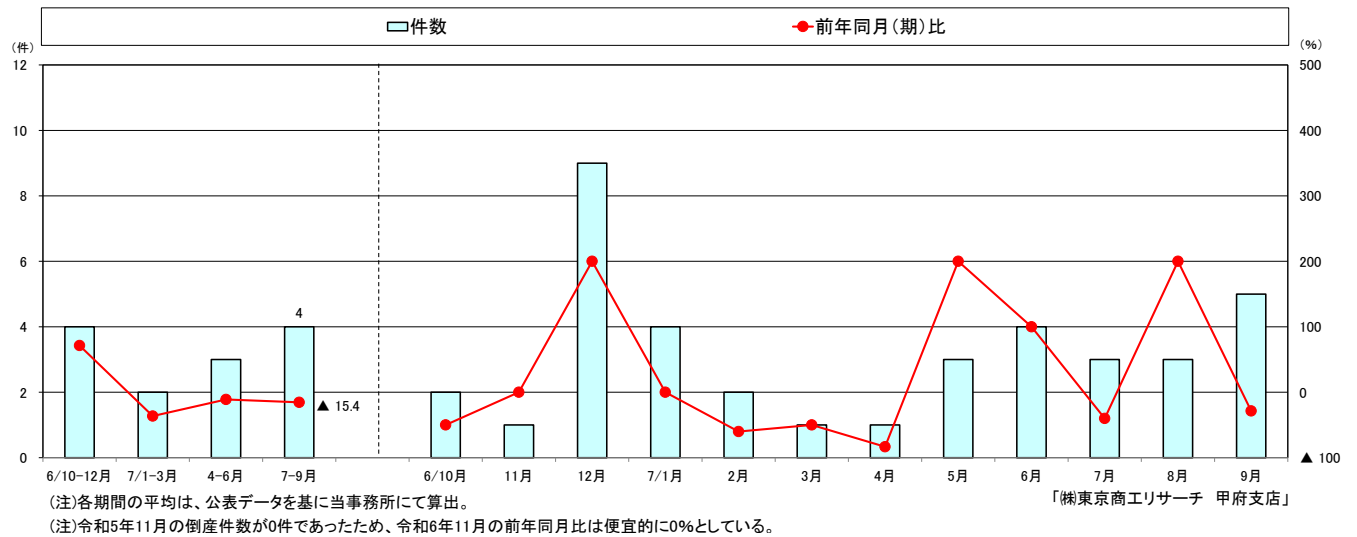


9. 企業倒産

件数、負債総額ともに前年を下回っている

〔グラフ14〕

倒産件数(県内)



〔グラフ15〕

負債総額(県内)

